

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第64期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 丸大食品株式会社

【英訳名】 MARUDAI FOOD CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 百 濟 徳 男

【本店の所在の場所】 大阪府高槻市緑町21番3号

【電話番号】 072-661-2518

【事務連絡者氏名】 常務取締役経理部長 澤 中 義 和

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地四丁目7番5号

【電話番号】 03-3524-8787

【事務連絡者氏名】 総務人事部東京総務課課長 岡 村 廣 志

【縦覧に供する場所】 丸大食品株式会社東京支店  
(東京都中央区築地四丁目7番5号(築地K Yビル))  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第63期 第2四半期 連結累計期間	第64期 第2四半期 連結累計期間	第63期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	99,148 (50,965)	100,596 (51,196)	198,752
経常利益	(百万円)	3,282	3,380	5,822
四半期(当期)純利益	(百万円)	2,695 (1,459)	2,734 (1,432)	3,854
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	2,441	2,600	4,049
純資産額	(百万円)	63,742	66,263	64,710
総資産額	(百万円)	116,344	118,841	117,104
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	20.38 (11.03)	21.05 (11.03)	29.18
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	53.8	54.4	54.1
営業活動によるキャッシュ・ フロー	(百万円)	2,040	5,222	9,825
投資活動によるキャッシュ・ フロー	(百万円)	1,310	2,198	2,885
財務活動によるキャッシュ・ フロー	(百万円)	2,434	2,821	3,967
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	8,909	13,784	13,582

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第63期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

5. 売上高、四半期純利益及び1株当たり四半期純利益金額の(括弧)の数値は、四半期連結会計期間(3ヶ月)の数値であります。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動の持ち直し等もあり、一部に景気回復の動きがみられたものの、欧州の財政問題及び米国経済の減速懸念を背景とした円高や株安などから、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、お客様の低価格志向による販売価格の下落や、原材料・燃料価格の高騰、及びセシウム汚染問題の影響等による食肉販売の環境悪化など厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」のもと、より安全で安心な食品の提供に努める一方、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」の諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期連結累計期間に比べ1.5%増の1,005億96百万円、営業利益は同2.1%増の33億14百万円、経常利益は同3.0%増の33億80百万円、四半期純利益は同1.4%増の27億34百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

#### 加工食品事業

震災後の内食回帰傾向のなか、ハム・ソーセージ部門では、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」の売上拡大を図るとともに、内食志向に対応した積極的なメニュー提案の実施などにより「いつも新鮮ロースハム」や「切落し生ハム」などの販売促進に努めました。また、中元ギフトにおきましても、主力ブランドである「王霸」「煌彩」シリーズを中心に堅調に売上を伸ばしました結果、当部門の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ3.0%の増収となりました。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」や「旨味工房カレー」などのレトルト食品の売上が順調に推移しました。また、デザート類の「SWEET CAFE」シリーズ、飲料・ヨーグルト類では「TAPIOCA TIME」シリーズ、「カスタードバニラヨーグルト」などの売上拡大に努めました結果、当部門の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ1.9%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同四半期連結累計期間に比べ2.5%増の746億16百万円となりました。営業利益は、原材料・燃料価格が高騰するなど厳しい環境下にありましたが、売上高の増加や生産・販売両部門でのコスト削減効果などから、前年同四半期連結累計期間に比べ4.7%増の31億25百万円となりました。

#### 食肉事業

牛肉につきましては、お客様の低価格商品志向により需要が伸び悩むなか、米国産牛肉の販売拡大に努めましたことから販売数量は増加しましたが、セシウム汚染の影響などによる国内相場の急落により売上高は低迷しました。豚肉につきましても相場が高止まりしたことにより販売数量が減少し苦戦しました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ1.4%減の257億79百万円となりました。営業利益は、豪州産牛肉販売の収益性の悪化などから前年同四半期連結累計期間に比べ42.9%減の1億1百万円となりました。

#### その他事業

その他事業の売上高は前年同四半期連結累計期間に比べ5.8%減の2億円、営業利益は同3.6%増の87百万円となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間における総資産は、有形固定資産が10億18百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が12億99百万円増加したほか、たな卸資産が4億55百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて17億36百万円増加し、1,188億41百万円となりました。

負債は、借入金11億3百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が13億97百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて1億83百万円増加し、525億78百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金10億39百万円の支払いがありましたが、四半期純利益27億34百万円の計上などにより前連結会計年度に比べて15億53百万円増加し、662億63百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べて0.3%増加し、54.4%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加(前年同四半期連結累計期間と比べ48億74百万円増加)し、137億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加などによる減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上などから、営業活動による資金は52億22百万円増加(前年同四半期連結累計期間と比べ31億81百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、投資活動による資金は21億98百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ8億87百万円支出増加)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金及びリース債務の返済による支出や配当金の支払などから、財務活動による資金は28億21百万円減少(前年同四半期連結累計期間と比べ3億86百万円支出増加)しました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、3億43百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	132,527,909	132,527,909	東京証券取引所(市場第一部) 大阪証券取引所(市場第一部) フランクフルト証券取引所	単元株式数は、1,000株 であります。
計	132,527,909	132,527,909	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年9月30日	-	132,527	-	6,716	-	21,685

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
丸大共栄会	大阪府高槻市緑町21番3号	8,581	6.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	6,579	4.96
財団法人小森記念財団	大阪府高槻市緑町21番3号 丸大食品株式会社内	5,250	3.96
特定有価証券信託 受託者ソシエテジェネラル信託銀行株式会社	東京都港区赤坂1丁目12番32号	4,915	3.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,912	3.71
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	4,438	3.35
住友信託銀行株式会社	大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号	4,324	3.26
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18番24号	4,301	3.25
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1丁目13番2号	3,213	2.42
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA  (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	3,070	2.32
計		49,584	37.41

(注) 1 次の法人から、大量保有報告書の提出があり、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当事業年度末現在における当該法人名義の実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」では考慮しておりません。

報告義務 発生日	氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
平成23年 4月15日	三井住友トラスト ・ホールディング ス株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目9番 2号 グラントウキョウ サウスタ ワー	9,075	6.85
平成23年 6月27日	株式会社三菱UF Jフィナンシャル ・グループ	東京都千代田区丸の内2丁目7番 1号	8,050	6.07

2 財団法人小森記念財団は、当社創業社長故小森敏之氏の遺志により、主として当社株式を基本財産とし、その配当金等を奨学事業及び学術研究助成等に給付することを目的として設立された法人であります。

3 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,579千株
特定有価証券信託 受託者ソシエテジェネラル信託銀行株式会社	4,915千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,912千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,620,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 129,412,000	129,412	同上
単元未満株式	普通株式 495,909	-	同上
発行済株式総数	132,527,909	-	-
総株主の議決権	-	129,412	-

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式39株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 丸大食品株式会社	大阪府高槻市緑町 21番3号	2,620,000	-	2,620,000	1.98
計	-	2,620,000	-	2,620,000	1.98

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,619	13,821
受取手形及び売掛金	19,921	21,220
商品及び製品	6,085	6,579
仕掛品	654	707
原材料及び貯蔵品	7,857	7,765
繰延税金資産	1,895	2,263
その他	662	1,003
貸倒引当金	61	52
<b>流動資産合計</b>	<b>50,633</b>	<b>53,308</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	45,509	45,314
減価償却累計額	29,918	30,160
<b>建物及び構築物（純額）</b>	<b>15,591</b>	<b>15,154</b>
機械装置及び運搬具	42,326	43,538
減価償却累計額	33,682	34,811
<b>機械装置及び運搬具（純額）</b>	<b>8,643</b>	<b>8,726</b>
工具、器具及び備品	5,148	5,089
減価償却累計額	3,475	3,459
<b>工具、器具及び備品（純額）</b>	<b>1,672</b>	<b>1,630</b>
リース資産	8,693	8,237
減価償却累計額	3,448	3,622
<b>リース資産（純額）</b>	<b>5,245</b>	<b>4,614</b>
土地	19,097	18,715
建設仮勘定	130	520
<b>有形固定資産合計</b>	<b>50,381</b>	<b>49,362</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>826</b>	<b>701</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	8,758	8,194
関係会社株式	-	130
長期貸付金	147	152
繰延税金資産	55	66
その他	6,656	7,301
貸倒引当金	353	377
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>15,264</b>	<b>15,468</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>66,471</b>	<b>65,532</b>
<b>資産合計</b>	<b>117,104</b>	<b>118,841</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,178	19,575
短期借入金	4,533	6,401
1年内返済予定の長期借入金	7,950	6,857
未払法人税等	706	510
未払消費税等	381	320
リース債務	1,346	1,195
賞与引当金	1,101	1,265
その他	6,500	7,080
流動負債合計	40,698	43,207
固定負債		
長期借入金	5,153	3,274
繰延税金負債	1,541	1,493
退職給付引当金	548	622
リース債務	3,965	3,487
その他	486	492
固定負債合計	11,696	9,370
負債合計	52,394	52,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	34,277	35,972
自己株式	697	697
株主資本合計	61,982	63,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,505	1,150
繰延ヘッジ損益	0	36
為替換算調整勘定	92	84
その他の包括利益累計額合計	1,414	1,030
少数株主持分	1,313	1,556
純資産合計	64,710	66,263
負債純資産合計	117,104	118,841

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	99,148	100,596
売上原価	72,947	74,494
売上総利益	26,200	26,102
販売費及び一般管理費	22,953	22,787
営業利益	3,246	3,314
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	96	109
不動産賃貸料	92	87
その他	209	189
営業外収益合計	412	399
営業外費用		
支払利息	250	210
その他	126	122
営業外費用合計	376	332
経常利益	3,282	3,380
特別利益		
固定資産処分益	236	13
負ののれん発生益	-	19
特別利益合計	236	32
特別損失		
固定資産処分損	105	127
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	79	0
減損損失	324	74
出資金評価損	0	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	-
特別損失合計	546	203
税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210
法人税、住民税及び事業税	496	424
法人税等調整額	472	197
法人税等合計	24	226
少数株主損益調整前四半期純利益	2,948	2,984
少数株主利益	253	249
四半期純利益	2,695	2,734

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,948	2,984
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	528	355
繰延ヘッジ損益	6	36
為替換算調整勘定	27	8
その他の包括利益合計	507	383
四半期包括利益	2,441	2,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,188	2,350
少数株主に係る四半期包括利益	253	249

【第2四半期連結会計期間】  
【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	50,965	51,196
売上原価	37,477	37,858
売上総利益	13,488	13,338
販売費及び一般管理費	11,934	11,756
営業利益	1,554	1,581
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	77	104
不動産賃貸料	45	43
その他	83	77
営業外収益合計	215	231
営業外費用		
支払利息	124	101
その他	70	49
営業外費用合計	195	151
経常利益	1,574	1,661
特別利益		
固定資産処分益	235	3
投資有価証券評価損戻入益	-	4
特別利益合計	235	7
特別損失		
固定資産処分損	72	85
投資有価証券評価損	77	0
減損損失	324	74
出資金評価損	0	-
特別損失合計	473	160
税金等調整前四半期純利益	1,335	1,508
法人税、住民税及び事業税	247	204
法人税等調整額	529	267
法人税等合計	281	62
少数株主損益調整前四半期純利益	1,616	1,571
少数株主利益	157	139
四半期純利益	1,459	1,432

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,616	1,571
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	154	182
繰延ヘッジ損益	2	31
為替換算調整勘定	6	0
その他の包括利益合計	150	214
四半期包括利益	1,766	1,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609	1,217
少数株主に係る四半期包括利益	157	139

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,972	3,210
減価償却費	3,008	2,888
貸倒引当金の増減額（は減少）	28	14
退職給付引当金の増減額（は減少）	384	424
受取利息及び受取配当金	111	122
支払利息	250	210
固定資産処分損益（は益）	131	114
投資有価証券売却損益（は益）	0	-
投資有価証券評価損益（は益）	79	0
減損損失	324	74
売上債権の増減額（は増加）	1,216	1,304
たな卸資産の増減額（は増加）	3,103	454
仕入債務の増減額（は減少）	1,130	1,397
未払消費税等の増減額（は減少）	203	61
その他	136	455
小計	2,505	5,997
利息及び配当金の受取額	139	148
利息の支払額	250	209
法人税等の支払額	354	714
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,040	5,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	16	15
投資有価証券の売却による収入	1	-
固定資産の取得による支出	1,682	2,132
固定資産の売却による収入	607	123
関係会社株式の取得による支出	-	130
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	5
その他	220	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,310	2,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	498	1,863
長期借入れによる収入	4,003	500
長期借入金の返済による支出	4,311	3,471
リース債務の返済による支出	697	669
配当金の支払額	925	1,039
その他	5	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,434	2,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,706	202
現金及び現金同等物の期首残高	10,615	13,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,909	13,784



【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、合併により設立したBETAGRO MF DELI CO., LTDを持分法の適用範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
	1 手形割引高 受取手形割引高 260百万円
2 偶発債務 次の会社の借入金に対して債務保証を行っております。 奥出雲ファーム(有) 40百万円	2 偶発債務 次の会社の借入金に対して債務保証を行っております。 奥出雲ファーム(有) 27百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
配送費 10,234百万円	配送費 10,661百万円
広告宣伝費 326百万円	広告宣伝費 299百万円
給与手当 4,458百万円	給与手当 4,299百万円
賞与 254百万円	賞与 226百万円
賞与引当金繰入額 789百万円	賞与引当金繰入額 816百万円
貸倒引当金繰入額 32百万円	貸倒引当金繰入額 23百万円
退職給付費用 366百万円	退職給付費用 365百万円
減価償却費 547百万円	減価償却費 416百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成23年9月30日現在)
現金及び預金 8,946百万円 預入期間が3か月超の定期預金 37百万円 現金及び現金同等物 8,909百万円	現金及び預金 13,821百万円 預入期間が3か月超の定期預金 37百万円 現金及び現金同等物 13,784百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	925	7	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	1,039	8	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,790	26,145	98,935	212	99,148	-	99,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	448	448	448	-
計	72,790	26,145	98,935	661	99,596	448	99,148
セグメント利益	2,984	177	3,162	84	3,246	-	3,246

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失324百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結累計期間における計上額であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,616	25,779	100,396	200	100,596	-	100,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	597	597	597	-
計	74,616	25,779	100,396	798	101,194	597	100,596
セグメント利益	3,125	101	3,227	87	3,314	-	3,314

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失74百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結累計期間における計上額であります。

（重要な負ののれん発生益）

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益（特別利益）を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19百万円であります。

前第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,800	13,049	50,850	115	50,965	-	50,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	234	234	234	-
計	37,800	13,049	50,850	350	51,200	234	50,965
セグメント利益	1,464	46	1,511	42	1,554	-	1,554

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失324百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結会計期間における計上額であります。

当第2四半期連結会計期間（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,516	12,594	51,110	86	51,196	-	51,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	259	259	259	-
計	38,516	12,594	51,110	345	51,455	259	51,196
セグメント利益	1,484	64	1,549	32	1,581	-	1,581

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失74百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第2四半期連結会計期間における計上額であります。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成23年3月31日)

(単位:百万円)

科目	連結貸借対照表 計上額	時価	差額	時価の算定方法
短期借入金	4,533	4,533	-	(注)

(注) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

短期借入金が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

(単位:百万円)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額	時価	差額	時価の算定方法
短期借入金	6,401	6,401	-	(注)

(注) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

第2四半期連結累計期間

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円38銭	21円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,695	2,734
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,695	2,734
普通株式の期中平均株式数(千株)	132,270	129,908

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2四半期連結会計期間

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円03銭	11円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,459	1,432
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,459	1,432
普通株式の期中平均株式数(千株)	132,270	129,908

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

丸大食品株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹 内 毅

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 部 政 男

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 駿 河 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている丸大食品株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、丸大食品株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。